

科目区分	教養科目	授業科目名	生涯スポーツA				科目コード	25L014	担当者	宮崎 美保			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 地域未来創生コース	配当年次	1年次	開講学期	前期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件				
授業形態	演習	履修条件						教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分					
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	高等学校の教員として勤務経験があり、現在も中学校外部指導者として部活動の指導や地域の子供たちスポーツ指導を行っている。この経験を生かして学生に合った実技指導を行う。				科目に含めることが必要な事項							

授業の主題	生涯の推進や現状などを把握し、今後の生活設計を考え生涯にわたって自主的にスポーツを楽しむながら健康保持していきけるようになることを目標とする。そのために多種多様なスポーツの楽しみ方を他者と共有し、実施していく。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	提出された学習記録や課題等は、コメントをつけて返却する。
授業の方法	必要に応じて配布資料を使用し、個人・グループでの実技を行う。	アクティブ・ラーニングの実施方法	アダプテーションゲームなどを取り入れ学生が自ら考え活動していく方法を用いる。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	オリエンテーション（コーディネーショントレーニング）	ストレッチで可動域を広げる	第9回	バスケットボール①（基本技術の紹介・ゲームの進め方理解）	ストレッチで可動域を広げる	
第2回	ポッチャ（基本技術の紹介・ゲームの進め方・実施）	ストレッチで可動域を広げる ポッチャについて予習すること	第10回	バスケットボール②（アダプテーション・ルールの選択）	ストレッチで可動域を広げる	
第3回	グラウンドゴルフ（基本技術の紹介・ゲームの進め方・実施）	ストレッチで可動域を広げる グラウンドゴルフについて予習すること	第11回	バスケットボール③（アダプテーション・ルールの考案）	ストレッチで可動域を広げる	
第4回	スポンジテニス（基本技術の紹介・ゲームの進め方・実施）	ストレッチで可動域を広げる スポンジテニスについて予習すること	第12回	バスケットボール④（アダプテーション・ルールの考案）	ストレッチで可動域を広げる	
第5回	ソフトバレーボール①（基本技術の紹介・ゲームの進め方理解）	ストレッチで可動域を広げる アダプテーション・ルールについて調べる	第13回	新体操①（ フープ ）	ストレッチで可動域を広げる 新体操について調べる	
第6回	ソフトバレーボール②（アダプテーション・ルールの選択）	ストレッチで可動域を広げる	第14回	新体操②（ ボール ）	ストレッチで可動域を広げる	
第7回	ソフトバレーボール③（アダプテーション・ルールの考案）	ストレッチで可動域を広げる	第15回	新体操③（ クラブ・リボン ）	ストレッチで可動域を広げる	
第8回	ソフトバレーボール④（アダプテーション・ルールの考案）	ストレッチで可動域を広げる			事前・事後 学修時間 (分/授業1回)	45分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	教科書は使用しない。授業ごとに教員が作成した紙媒体の資料を配布する。	受講生への メッセージ	あなたはスポーツをしていますか？快適な生活をおくるために欠かせないスポーツをみなさんと楽しくやりたいと思っています。苦手な人も大丈夫、一緒にいい汗をかきましょう。 受講上の注意 ・運動のできる服装・体育館シューズを持参してください。（グラウンドゴルフは、グラウンドで実施するため屋外用シューズが必要です） ・遅刻は3回で欠課1回として取り扱います。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

評価基準																	
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点 学修成果の 比率(%)	評価方法の配点比率(%)					学修成果の小分類			尺度					
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
													(S : 100~90%)	(A : 89~80%)	(B : 79~70%)	(C : 69~60%)	(F : 59%以下)
観点	尽心	① 学習意欲															
		② 規律性															
	知識・技能	③ 知識	20			20			スポーツに関する基礎的知識を十分有し、他者へ説明できる。	基礎的知識	レポート	スポーツに関する基礎的知識を十分有し、他者へ説明できる。	スポーツに関する基礎的知識を十分有しており、他者にある程度説明できる。	スポーツに関する基礎的知識を有しており、他者に説明できる。	スポーツに関する基礎的知識を有しており、他者に説明できる。	スポーツに関する基礎的知識が不十分であり、他者に説明できない。	
		④ 技能	20		20			スポーツに関する基礎的技能を十分習得し、応用できる。	基礎的技能	実技試験	スポーツに関する基礎的技能を十分習得し、応用できる。	スポーツに関する基礎的技能を十分習得し、ある程度応用できる。	スポーツに関する基礎的技能を習得し、ある程度応用できる。	スポーツに関する基礎的技能をある程度習得し、応用できる。	スポーツに関する基礎的技能習得が不十分で、応用できない。		
	思考・判断	⑤ 情報活用能力															
		⑥ 課題解決力															
	表現	⑦ 言語活用能力															
		⑧ コミュニケーション力															
	実践	⑨ 主体性	30					30	実践において積極性があり、自ら行動できる。	積極性・行動力	受講態度	実践において積極性があり、自ら行動できる。	実践において積極性があり、必要に応じて自ら行動できる。	実践においてある程度積極的であるが自ら行動できていない。	実践においてある程度積極的であるが自ら行動できていない。	実践において積極性が不足し、自ら行動できていない。	
		⑩ 協働性	30					30	グループ活動において十分にチームワーク・リーダーシップが取れる。	チームワーク・リーダーシップ	受講態度	グループ活動において十分にチームワーク・リーダーシップが取れる。	グループ活動において十分にチームワークが取れ必要に応じてリーダーシップが取れる。	グループ活動においてチームワークが取れ必要に応じてリーダーシップが取れる。	グループ活動においてチームワークが取れるがリーダーシップが取れない。	グループ活動においてチームワーク不十分でリーダーシップが取れない。	
合計			100		20	20		60									